

43 ハマガニ

(ベンケイガニ科)

兵庫県ランク:B

Chasmagnathus convexus

環境省ランク:指定なし

種の概要

宮城県以南から沖縄諸島に分布する。甲幅50mm。大型の半陸生のカニ。河口域の中州などに形成されるヨシ帯の中部から上部に巣穴を掘る。大型個体の巣穴直径はしばし巨大になり、大人の握りこぶしが入るほどの大きさとなる。体色は濃淡の差はあるが基本的に藤色から紫色であるため、近似種のアシハラガニ(その他無脊椎動物Cランク)と区別できる。小型個体では褐色に近い見分けづらいが、本種は甲の眼と眼の間に深い縦溝が入ることが識別点となる。

主要な選定理由

人為性			生息環境の特殊性		学術性		
個体数激減	分布域に影響	営利目的捕獲	特殊生息環境	地域的孤立	分布が極限	分布の限界	希少
			○	△			○

県内分布

神戸市、加古川市、高砂市、姫路市、相生市、たつの市、赤穂市、洲本市、淡路市

県内における生息状況及びその他特記事項

ランク変更なし。播磨東部から西部、及び淡路島。最近になって神戸・阪神地域でも記録された。比較的大きな河川の河畔林の低地やヨシ帯のある場所では個体数は少なくない。主に夜行性で、昼間に巣穴を確認した場所に夜訪れると、驚くほどの個体が活動していることがある。

保護上の留意点

県内における確認地点数は比較的多いものの、主な生息域である河口域のヨシ帯が減少しつつある。特に神戸・阪神地域では本種が生息できるようなヨシ帯は壊滅状態にあり、生存が確認されているものの危機的な状況であると思われる。神戸市における報告によると、市街地を流れる護岸河川の高水敷にできたヨシ帯から確認されており(土井・青山, 2013)、安定して個体群が維持されるかはさておき、ある程度の環境があれば加入のあることが示された。



写真提供：増田修



※撮影個体は県外産

写真提供：西宮市貝類館

【執筆者】 渡部哲也